

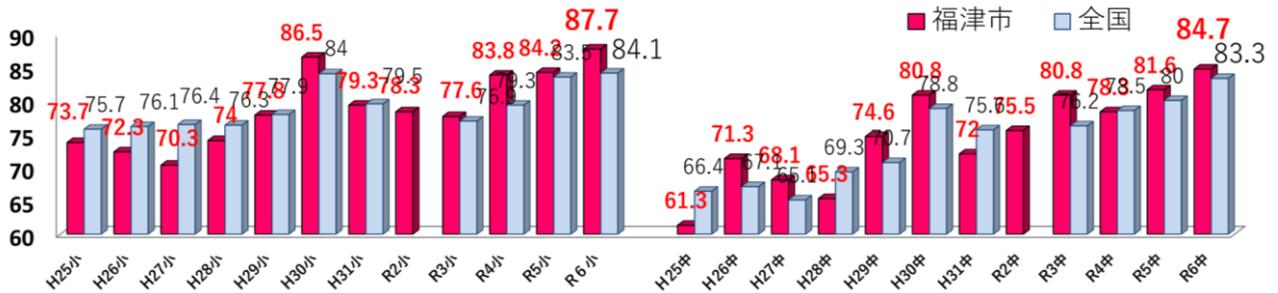
全国学力・学習状況調査における子どもたちの学習状況と成長

令和6年4月に小学6年生、中学3年生の全児童・生徒を対象に行われました。全国学力・学習状況調査の「児童・生徒質問紙」の結果から見えてくる福津市の子どもたちの学習状況の結果です。

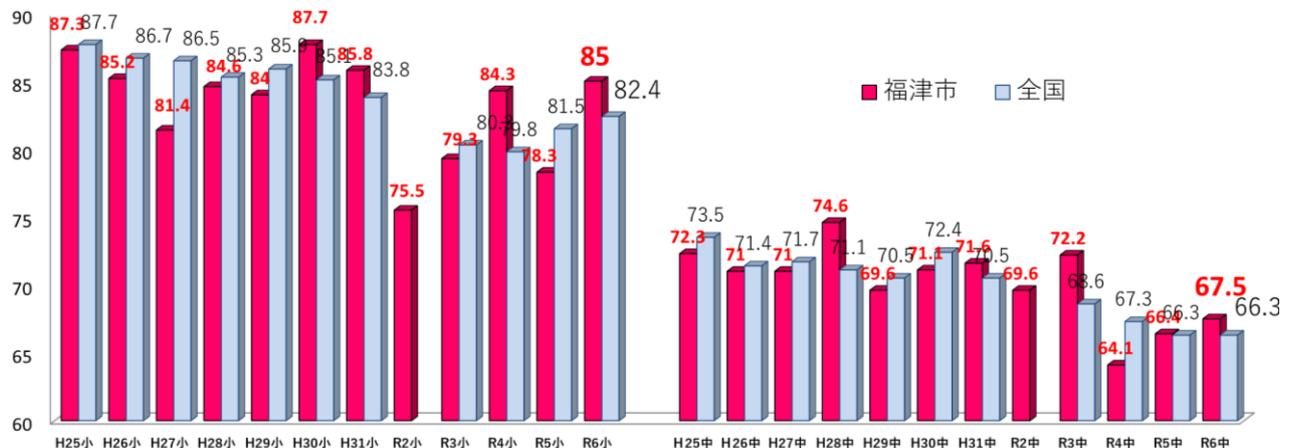
この結果のみですべての子どもたちの学習状況や成長を把握することはできませんが、経年比較により、学習状況を踏まえて教育活動の検証・改善に生かしたいと考えています。

◆ 「認め合い、鍛え合い、創造する子ども」

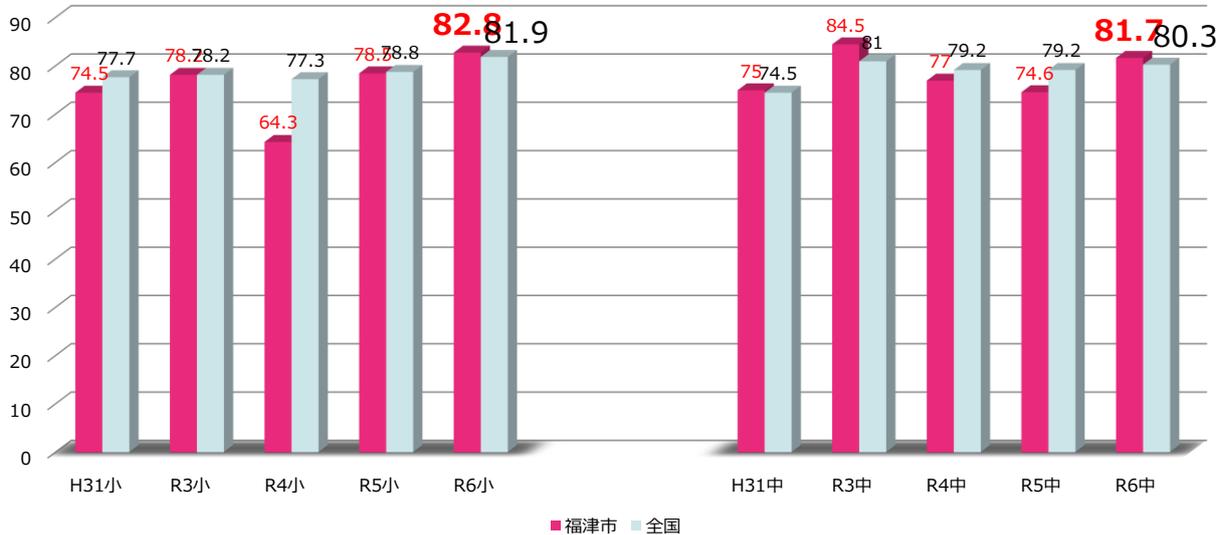
自分にはよいところがある (当てはまる, どちらかといえば、当てはまる)



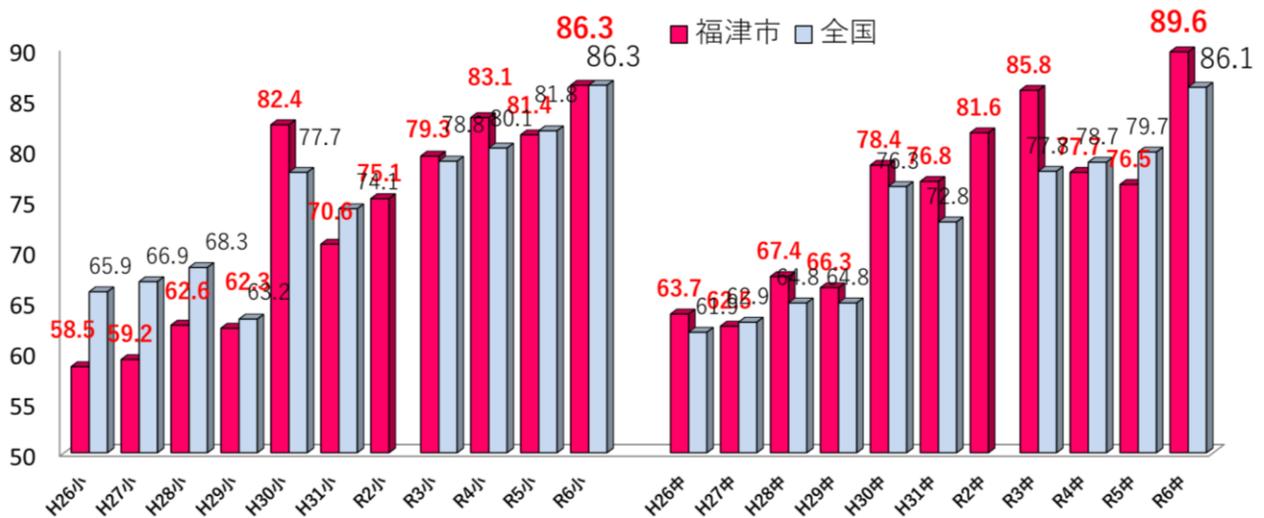
将来の夢や目標をもっている (当てはまる, どちらかといえば、当てはまる)



5年生（1，2年生）までに受けた授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。
 （当てはまる、どちらかといえば、当てはまる）



学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができていますか。
 （当てはまる、どちらかといえば、当てはまる）

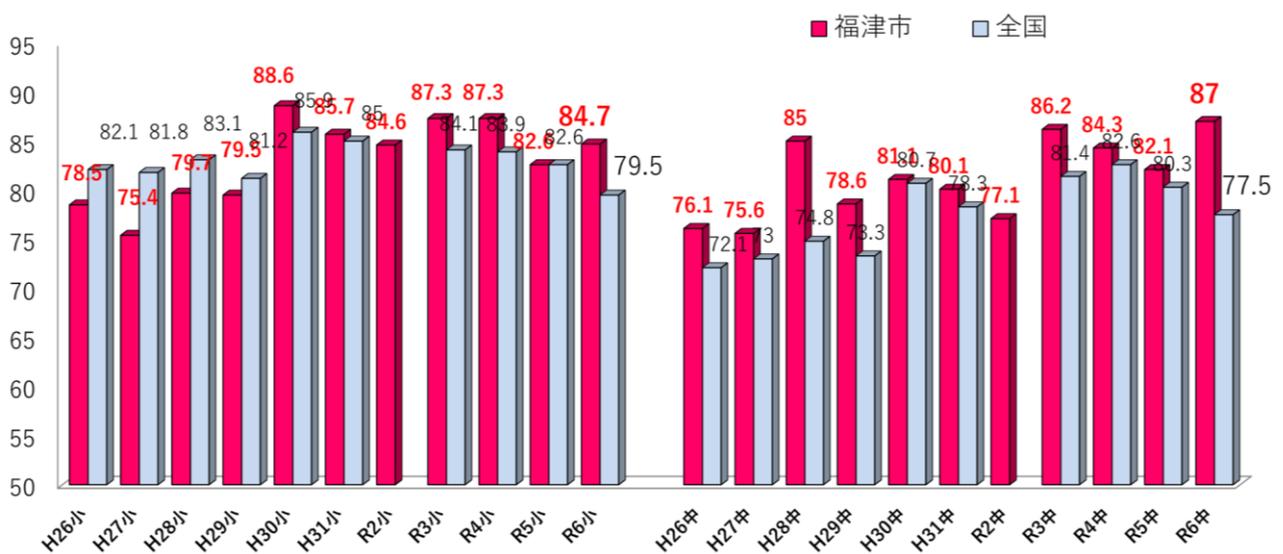


□ 「自分にはよいところがある」の項目は、小・中学校ともに全国平均を上回りました。また、「夢や目標を持っている」の項目においても、小・中学校ともに全国を上回っています。今後も、子どもたちの自己肯定感の高めるために発達支持的生徒指導の充実や、小中9年間を通じたキャリア教育の充実等を図っていきます。

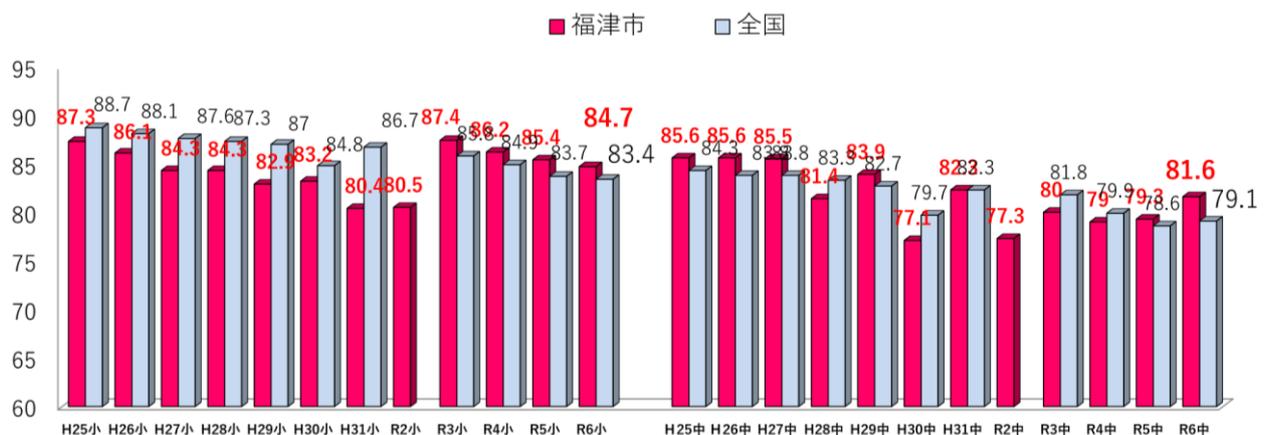
□ 「5年生（1・2年生）までに受けた授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」の項目は小・中学校ともに全国平均を上回っており、昨年度からの主体的な学びの高まりが見られます。また、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができている」の項目では、小学校は全国平均と同じ、中学校は全国平均を上回っています。どちらも協働的な学びが高まってきていることから、各学校で取り組んでいる主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を継続しつつ、個別最適な学びの実現に向けて学習者主体の授業づくりに努めていきます。

◆規範意識や社会性を身に付けた子ども

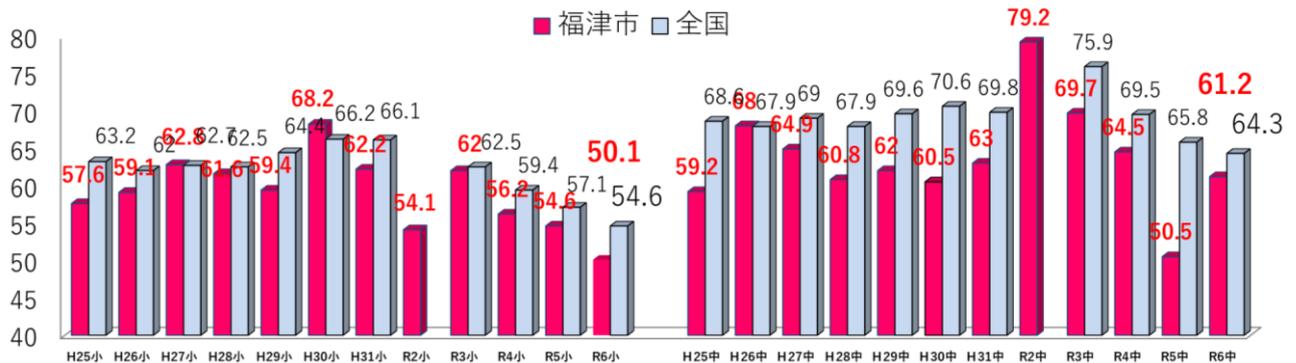
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う (当てはまる)



朝食を毎日食べている (している)

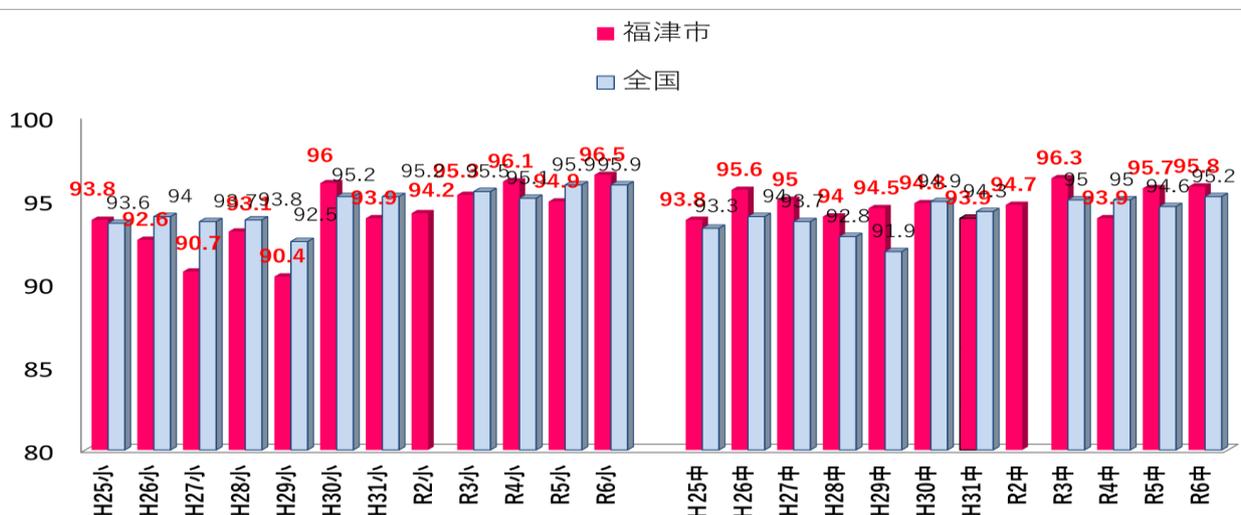


学校の授業時間以外に、平日 1 日 1 時間以上勉強をしている (塾なども含む)

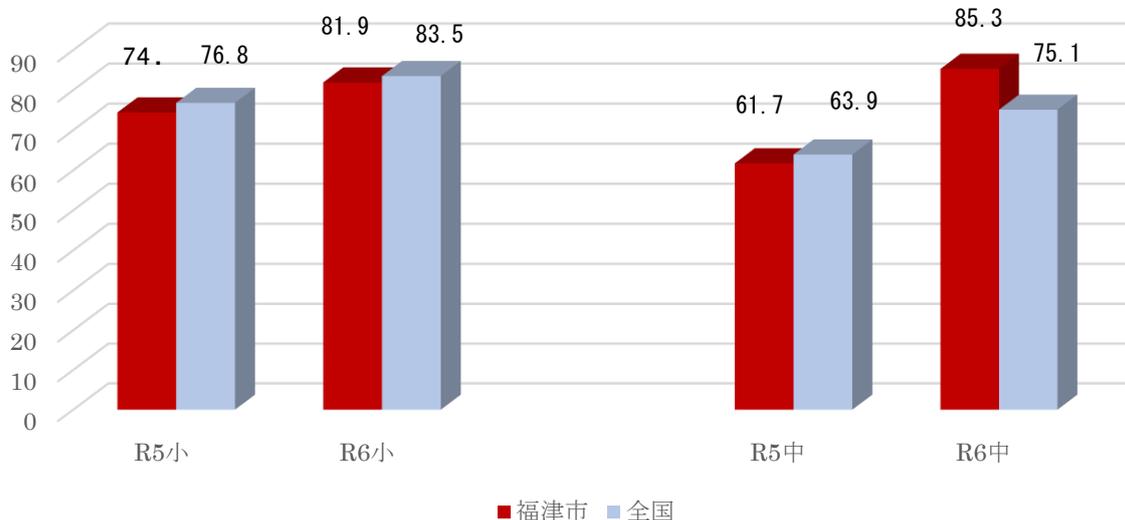


- 「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」の項目について、小・中学校ともに全国平均を上回っており、ほとんどの子どもが「いじめはいけない」と判断していることから規範意識の高まりが見られます。いじめはどんな理由があっても絶対に許されない行為であるという強い認識を全ての子どもがもてるよう、全教育活動を通じた指導を継続して行っていくとともに、いじめ未然防止に向けた様々な取組も継続して行っていきます。
- 「毎日朝食を食べている」の項目は、小・中学校ともに全国平均を上回っています。子どもたちの心身の健やかな成長のために、「早寝早起き朝ごはん」をはじめとした規則正しい生活習慣を今後も継続して身に付けさせていくとともに、各学校において食育の推進も図っていきます。
- 規則正しい学習習慣について、「平日1日あたりの家庭学習の時間」の項目では、「1時間以上学習している」割合が、小・中学校ともに全国平均を下回っています。子どもたちが家庭学習を主体的に行うことができるよう、何のために学ぶのかを考えるキャリア教育とつなげたり、ICT 機器を活用した個に応じた家庭学習等も取り入れたりして、家庭・地域と協働した取り組みの充実を図っていきます。

人の役に立つ人間になりたいと思いますか (当てはまる, どちらかといえば, 当てはまる)



地域や社会をよりよくするために何かしてみたいと思う (当てはまる、どちらかといえば、当てはまる)



※「地域や社会をよりよくするために何かしてみたいと思う」の項目は、昨年度から付け加わった項目です。

- 「人の役に立つ人間になりたいと思う」の項目では、小・中学校ともに全国平均を上回り、自己有用感や自己効力感が高まっています。

また、「地域や社会をよりよくするために何かしてみたいと思う」については、小学校は全国平均を下回りましたが、昨年度より地域貢献への意識が高まっています。中学校では、各学校におけるボランティアなど地域貢献の広がりから、全国平均を上回っています。小中9年間の連続したコミュニティ・スクールの取組をさらに新化させ、地域のよさを知り、地域に貢献する喜びや地域の一員として自覚をもって行動する子どもの育成に更に取り組んでいきます。